



日 時 11月14日(土) 10:00~12:00  
会 場 鶴瀬公民館第3集会室  
講 師 山口 武氏  
受講生数 25人

冒頭「今日は何の記念日でしょうか」と先生から問いかけがありました。

受講生より埼玉県民の日と声は上がりました。

埼玉県になる前史、有力な地域がそれぞれの地域性をもって競っていた変遷を明らかにされた。県北の優位性が認められるが名称、県庁所在地の決定についてのいきさつが出された。

### 1. 渋沢栄一と慈善活動

渡欧しパリ万博を視察した渋沢は慈善社会を知る。

#### ・東京養育院の設置

当時、日本は下層民・孤児にあふれていた、障がい児・者が片隅に追いやられ苦渋にあえいでいた現状に渋沢は社会的な義務を痛感する。

国に救済の建白書を提出する。



講師 山口 武氏

明治になり廃業した武士層の困窮、親に捨てられ、死に分かれた孤児があふれていた。ロシアの皇太子の来日をきっかけに、加賀藩屋敷脇の長屋に收容し、のちに東京養育院となる。現東京都健康長寿医療センター。

- ・結核予防協会

北里柴三郎は1913年（大正2年）に当時不治の病と恐れられていた結核を予防するために渋沢の資金援助で結核予防協会を設立。渋沢は副会頭を務める。

- ・病気の歴史 当時の流行病

天然痘 疱瘡神頼り 大仏の建立

コレラ コレラの碑 智光山公園（狭山市）

- ・聖路加病院

- ・関東大震災での救援活動

自らも被災したが被災者の收容施設の開設、炊き出し、無料の臨時病院の設置、情報案内所を設置、失業者対策として臨時職業案内所の設置を内務省に要望している。

- ・埼玉育児院への協力

嵐山町大蔵に、安養寺があり門内に「埼玉育児院発祥の地」という石碑が建てられている。

1878年（明治11年）安養寺に小島乗真が生まれる。

その当時、一般庶民は窮乏が続き捨て子や孤児がみられ、恵まれない子どもたちのための養育施設の設立を目指しました。

設立には檀家総代の強硬な反対、周辺住民からの反対も多かったが、1911年（大正元年）10月に「積徳育児院」という埼玉県で初めての孤児院を作りました。当初、経営は困難を極めたが、渋沢栄一が資金援助もあり多く賛同者により経営を軌道に乗せることができました。

乗真は先駆者として大変な苦勞をしたが、その生涯はあまり人に知られていません。埼玉県の福祉や教育の歴史を学ぶ上で忘れてはならない人です。

別紙参照「実を結んだ小島乗真の情熱—埼玉県で最初の孤児院—」

## 2. 国際交流

- ・有名人との交流

- ・青い目の人形

青い目の人形と日米交流

明治末年、多くに日本人が新天地を求めてアメリカに移住した。

ところが第一次世界大戦後の強硬・経済普及により、失業者が増えて、日本人移民への反感が強まり、日米関係が緊迫した状態が続いた。

その中で宣教師のシドニー・ルイス・ギューリック博士は、人形を通して親善を図ろうとした。

実業家渋沢栄一に協力を求めたところ賛同を得た。外務省・文部省と打ち合わせ、1万2739体を日本のひな祭りの時期に合わせて受け入れることになった。

東京の日本青年館で歓迎式典が催され、来賓者、各小学校アメリカンスクール子どもなど2000人が集まった。

式典後、人形たちは各都道府県のほか、当時日本の植民地だった台湾、満州朝鮮なども送られた。

埼玉県に配布された人形は、埼玉会館で盛大な歓迎会を受け178体が県内に抽選で配布されました。また配布先幼稚園、小学校でも歓迎会が開かれた。富士見市では鶴瀬、南畑小学校に配布されたが跡形もない。

さらに「ミス・サイタマ」と名付けられた日本人形が答礼としてアメリカに贈られた。

1941年、開戦とともに人形は鬼畜米英思想の下に憎悪の対象となり、燃やされ、水に沈めたり、竹やりで突かれたりして姿を消しました。

しかし、人形を守ろうとした人々もいました。

全国では約250体、埼玉県内では12体の青い目の人形が残されています。

「校長室の戸棚に隠された古い人形」元教員の大野英子さんからの聞き取りを紹介。講師の山口先生が埼玉県の青い目の人形を調べ、聞き取りをされ、まとめた活動によって私たちは貴重な事実を知ることができました。

### 3. 渋沢栄一の死とその後の日本

1931年（昭和6年）11月11日92歳で永眠。

葬儀に多くの参列者、全村民が休業した。新聞記事で「巨星 光を消す」

### 4. 渋沢栄一の今日的評価

日本の資本主義の基礎を築き、社会福祉に尽くしたが日清・日露戦争への態度や身分差別の是正などの対し明確ではない。

2009年 論説評論「渋沢栄一に学ぶこと」寺島実郎氏の記事。

創造的資本主義の基軸 渋沢の著書「論語と算盤」は決して古くない。

### 質疑

- ・ ギューリックの青い目の人形に対する発想は日米親善だけが目的か。  
青い目の人形は何種類もの型押し人形で、ひな祭りの合わせて送られたもので、当時悪感情に宣教師として布教活動に支障をきたさないように考えたのでは。

